

学校評議員会の実施報告書

1 会議の名称 第1回学校評議員会

2 会議の構成

委員

石川 孝信 様	株式会社サムソンウィンズ代表取締役会長
後藤 良平 様	本巣市本巣民生児童委員協議会 主任児童委員
瀬尾 章二 様	岐阜市青少年育成市民会議 網代地域会長
水野 範子 様	本巣市障がい者就労支援センター 所長
村瀬 忍 様	岐阜大学教育学部特別支援教育講座 教授

(委員名は五十音順)

学校側

P T A会長	太田 由紀子	小学部主事	澤田 秀俊
校 長	板倉 寿明	中学部主事	前田 晴美
事 務 長	富田 芳倫	高等部主事	吉田 勇人
教 頭	水野 慎治	教務主任	早坂 英主

3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者等から幅広く意見を求め、充実した教育活動を展開するとともに、地域に開かれた学校づくりを推進することを目的とする。

4 会議の開催 日 時：平成28年6月28日（火） 13時30分～15時
場 所：岐阜本巣特別支援学校 校長室
出席者：委員4人（欠席1人）、学校側8人

5 会議の概要

- (1) 学校評議員の委嘱
- (2) 校長挨拶
- (3) 校長による学校概要と課題の説明
- (4) 授業参観及び施設見学 中学部、高等部
- (5) 各学部主事と教務主任による現状の説明
- (6) 高等部の作業製品の価格について
- (7) 学校評議員からの意見、質疑応答

6 会議の内容

(作業製品に対するご意見)

- 意見1 高等部作業学習の新製品（喫茶サービス）のケーキは、シナモン味がほどよい感じである。
- 意見2 ケーキの材料に、地域の特産品を使ってみてはどうだろうか。
- 意見3 木製マグネットは、新製品のほうが買う気になると思う。旧製品との比較で、昨年の売り上げ状況と比較するとよいのではないか。
- 意見4 マグネットの使用頻度。小さいと落ちてしまう。3種類の一体型で販売。
- 意見5 木製品は手がかかることもあり、作業として適当か？
- 意見6 生徒たちが一生懸命作っても、評価されないと意味がない。製品を見た人たちが、生徒たちが作ったことを知ってほしい。百円均一の商品と比較されると、価格設定が難しい面もあるが、案のとおりでよいと思われる。
- 意見7 生徒たちの作業製品は、手が込んでいる。それが評価されにくいのは、残念である。
- 意見8 赤ちゃんも使用する製品は、安価なほうがよい。
- 意見9 ハンカチなど、ポケット用ではなく、首から下げて使用できるように、使用方法の工夫を考えるとよい。小さい子、赤ちゃん、障がいのある子どもたちが使いやすい。用途が広がれば、使いやすい。

(本校教育へのご提言)

- 提言1 児童生徒数が増加し、その中には発達障がいのある子どもたちが増加している。先生方は、本当に一生懸命子どもたちと接している。
- 提言2 廊下にセンターラインを引くなど、創意工夫した取組がみられる。
HPを見ると、作業学習のページが単調だと感じる。もっと学習中の写真等を入れると、取組を理解してもらえる。南館とセミナーハウスを結ぶ通路は、車いすでは通りづらいように思う。
- 提言3 私の職場である事務所で、3人の生徒の実習を引き受けたが、どの生徒もやり切る力があつた。最初は戸惑っていたが、最後はできている姿を見ると、実習期間中に成長した姿が見られた。
卒業後の就労については、仕事ができるとかできないではなく、居心地がよい、仲間と一緒にいることができるなども判断材料になる。
掃除については、学校でできるよう、小学生のうちから習慣づけてほしい。
防災の取組では、自分の家に帰れるかが大切なので、自分の名前、住んでいるところ、親の名前など、ヘルプカードの利用を考えていけるとよい。
- 提言4 全般的に、先生方の取組がよい。

6 会議のまとめ

今回の評議員会では、校長より学校概要と課題の説明をし、中学部の授業と高等部の授業を見学した。そのあとで、各部主事から、現状の説明等をした。

また、高等部の作業学習製品のうち新製品については、実物を手に取っていただいて価格についてのご意見等をいただいた。

本日の会で評議員の方からいただいたご意見やご提言は十分に検討して、今後の学校運営に生かしていきたい。